

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム風

目標達成計画

作成日: 令和2年12月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	スタッフ間において経験及び能力の差が大きく、経験者が不在時において不測の事態が生じた際に迅速な判断及び対応がとれないことがある。	全職員が安定したサービスの提供が行えるよう介護技術・介護知識の向上を図る。	資格取得による手当の支給額引き上げ及び研修受講が可能なシフト調整。 社内・社外研修の案内及び実施。	12ヶ月
2	4	運営状況の報告が主となりがちになり、会議自体がマンネリ化しつつある。	地域に必要とされるサービスの提供及び還元と更なる地域住民との協力関係の構築を図る。	地域住民向けの介護講座、施設見学会等の開催。 運営推進会議の充実(出席者が増えるような議論及び活動)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。